

正願寺通信

●春季永代経彼岸会「案内」

この『正願寺通信』は、ご縁のあるごなたにもお配りします。ご希望の方は「ご連絡ください」。



発行者: 真宗大谷派 正願寺 住職 三保谷 順
〒442-0862 豊川市市田町北之坪1-1
Tel 0533-86-3659 FAX 86-3668
Mail mipomail@cream.plala.or.jp

疑謗為縁

疑謗を縁と為す

答えを持ったら、
そこで終わり。
問いを持ったら、
そこが始まり。

今回の言葉は、ご本山が出している法語集の一言です。以前からこの言葉は知っていましたが、あらためて出遇い、「なるほど」と思いました。

この言葉は、親鸞という人が求め歩み続けた道を表現しているように思います。その人は比叡山天台宗に20年間身を置き、ひたすら勉強と修行を続け、悟りを求めたと言われます。それは人として生ま

れた意味、生きる意味の答えを求め道でした。しかし、仏教の深さが解かれれば解るほど、悟り(答え)は遠ざかっていきました。

どうにもならない挫折の中、親鸞聖人は法然上人にお会いします。法然上人は、親鸞聖人の問いに、「ただ念仏して」と答えます。これでは答えになつていません。親鸞聖人はおそらく「それでどうなるのですか?」と問うたのでしよう。法然上人は、「ただ念仏して」と答えます。「それで?」と問うと、また「ただ念仏して」と答えが返ってきます。このようなやり取りが法然上人と親鸞聖人の間でしばらく続いたのだと思われま

職のかつてな想像です。

法然上人が語ったのは、

「南無阿弥陀はあなたの答えではない。阿弥陀様の答えなのだ」ということです。阿弥陀様が「どのようにしたら全

ての人を救う道を完成できるのか」という深い問いを立て、五劫という長い間(数百億年ほど?)そのことを考え続け、ついに南無阿弥陀仏(念仏)という道を開かれたと、法然上人は説かれております。

親鸞聖人はその教えに出会い、このように領かれるのです。「私が求めている答えは、私が握りしめたいと思つていた程度のものであった。阿弥陀様は、私のその思いを突き破つて下さった。そしてこの道を問い続け歩み続けよと、私に南無阿弥陀仏を与えて下さった。この私一人のために」。これが親鸞聖人の出遇い歩まれた道です。「このことを生涯をかけて問い続けよう」そのように人生が決まったのが、法然上人との出会いだったのです。

真宗入門

御今日のつどいご案内

2月のテーマ

超人門

「どうする私の葬式」

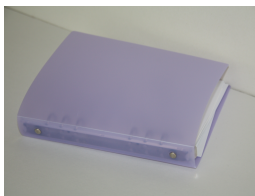
最近葬儀会社の新聞折り込み広告が目立ちます。いわゆる「多死社会」が訪れようとしているからです。死者の奪い合いのような感じがしてしまします。しかし、家族葬などの小規模な葬儀が増え、ご葬儀1件あたりの収益は少なくなってきたので、数で稼がなければ、ということなのです。また、一見低額に見せかけ、いつの間にか高額になつていったというトラブルも目立ってきたようです。その様な事が問題になり、「小さな……」のテレビコマーシャルの会社には、広告の不当表示で一億円以上の課徴金の支払いを国は命令しました。そのほか、「イオンのお葬式」「よりそう」なども相次いで、消費者庁の摘発を受けました。このような事の背景には、

私たちが「お葬式」ということを知らないという事情があります。親戚のお葬式でも、ただ会葬者として出席するだけになつています。「お葬式」にかかわる機会がほとんどありません。だから葬儀社の勧められるままになつてしまい、いつの間にか高額なお葬式になつてしまつてしまうのでしよう。

あなただつたら、どんなお葬式にしてみたいですか。お葬式の基本から考えます。

御今日のつどいは、どんなでも気軽に御参りできる「つどい」です。お数珠(とファイル)だけお持ちいただければ大丈夫。本堂に入る時はアルコールで手を消毒し、マスクの着用もお願いします。日時は28日午前10時30分から11時40分までです。

なお、ご参加いただいた方には、『浄土真宗学習ノート(仮称)』をお配りいたします。ぜひこの機会にお参りください。



行事のご案内

3月の行事

本堂仏具のおみがき

春季永代経彼岸会法要のための本堂御仏具のおみがきをします。是非お手伝いください。

始まり時間は目安です。気楽にご参加ください。

◇日時 3月16日(土)

午前9時から

1時間ほど

その後 お茶とお菓子の雑談会があります。色々な方とお話ができます。

春季永代経彼岸会法要

永代経法要と春季彼岸会法要を、あわせてお勤めします。

永代経法要とは、正式には「永代経祠堂法事」と正願寺では言います。お志の上がつた方のご法名を本堂にお掛けし(祠堂)、永代にわたってお釈迦様の説法(御経)にお



会いするという御法要です。亡くなられた方と共に、私たちもお釈迦様の説法に出遭わさせていただきます。私たちがお釈迦様の説法に出遭わさせてもらい、人として生まれたことを大切にしてもらいたいというのは、亡き方々の願いでもあるのです。その亡き方々は西方浄土に帰っていかれました。春秋のこの時は、阿弥陀仏のおられる西方浄土のある真西に太陽が沈むことから、そのお浄土を心に想い浮かべながら勤める法要が彼岸会法要の始まりです。法要は次の日程で勤めます。

3月22日(金)

午後1時 受付

午後1時30分 法要

法話 自坊住職

3月23日(土)

午後11時30分 受付

正午から 御斎(お食事)

午後1時 法要

法話 戸松憲仁師

1日目は、午後1時30分からの法要です。正願寺住職の法話がございします。

2日目は、正午より御斎がございします。御斎とは、御法要に合わせてのお食事の事で、基本は精進料理です。御斎は



昨年の御斎の様子

午後1時で終了いたします。引き続き御法要です。岡崎市福万寺御住職の戸松憲仁師のご法話がございします。

両日とも会館に受付を設けます。「お志」をお納めください。

墓地管理冥

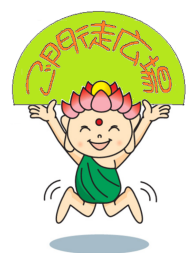
加金も収め

ることがで

きます。



なお、永代経祠堂志(永代供養志)が上がっている方へは別途案内をお出しします。



ご門徒情報共有欄です。掲載希望の方は正願寺まで。

『上野 久 回顧展』案内

正願寺所属のご門徒で、13年ほど前に亡くなられた、上野 久さんの絵画の回顧展が開かれます。会場は小田渕の「わたなべ珈琲店」です。ゆっくりとコーヒーを飲みながら鑑賞してください。



◇期日 2月14日(水)

～2月26日(月)

火曜定休

◇時間 9時～20時

◇会場 わたなべ珈琲店

豊川市小田渕町

2-69

正願寺来寺の際のお願い

正願寺では、住職・坊守のどちらかが必ずお寺に居るよううに心がけていますが、法要と個人の用事が重なったりで、どうしても不在の時が来ます。重要な要件でお越しの際は、事前に電話等でご確認の上お越しいただければありがたいです。

あとがき

朝、通学の時間帯に緑の服の方たちが子供たちの安全を守っています。『苦勞様』と挨拶したくなります。あの頃は穏やかな時代だったのに」と言わなければならぬようにと思います。



先日は関東地方に大雪警報が。都会には大雪が降らない」という思い込みがあったので、ニュースの映像にビックリしつつ、自転車で雪道を通学したことを回想。10cmほど積もってもお昼には晴れて融けるからバスではなく自転車で恐々としながら。今ではもうあの雪のツルツル道を上手く歩いたり、自転車に乗ったりは出来ないなあ

